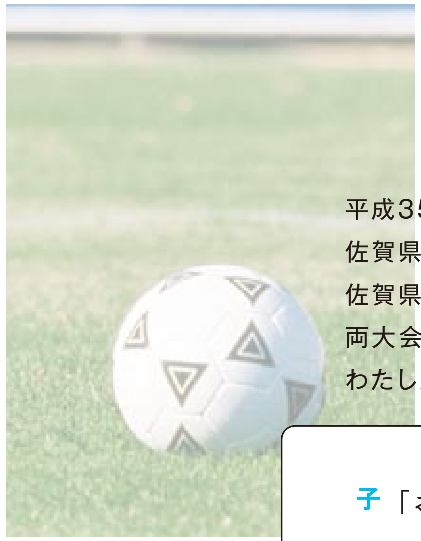
# VII エピローグ



## そして、ある家族の会話

平成35年「国民体育大会」・「全国障害者スポーツ大会」の
佐賀県開催から歳月を経て、
佐賀県に住むある家族が、こんな会話をかわしていたら、
両大会は本当の意味で、「めざした大会」を成功させたのだと、
わたしたちは誇りに思います。

**子**「お父さん、見て見て！ドリブルうまくなったやろ!?」

**父**「おう、なった、なった。」

**母**「最近、よう外で遊びよるねぇ。」

**父**「自然がいっぱいだし、子育てもしやすいし、そんな環境が気に入って、君の実家の佐賀に移ってきたけど、佐賀って職場でも、ご近所でも、ジョギングとか、スポーツとか何かやっている人が多いね。昔からこう？」

**母**「ううん。今ほどじゃなかったんよ。私が高校生のとき、国体と障がい者スポーツの全国大会があってさ。私はスポーツは苦手やったけど、友達とゲームズメーカーとして参加したと。佐賀県の選手がたくさん活躍して、結構、盛り上がったし楽しかったな。あれからかなあ、いやそのちょっと前からかな、私みたいに軽い運動始める人が増えたの。」

**父**「ふーん。そういえば、よく大学部活の合宿や海外チームのキャンプもやって来るよね。」

**子**「お父さん、今度、車椅子バスケの選手も来るとよ。
ねえ、一緒に試合ば見に行こ！」

**父**「あれは、がばい見ごたえあるもんなあ。よし、行こう！」

YOU GO! I GO!
HERE WE GO!!





### 平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
### 佐賀県準備委員会

会長　山口祥義（佐賀県知事）

佐賀県市長会
佐賀県町村会
（公財）佐賀県体育協会
（一社）佐賀県障がい者スポーツ協会
（一社）佐賀県医師会
（公社）佐賀県看護協会
（福）佐賀県社会福祉協議会
（一財）佐賀県手をつなぐ育成会
佐賀県精神保険福祉連合会
（一社）佐賀県身体障害者団体連合会
佐賀県商工会議所連合会
佐賀県商工会連合会
（一社）佐賀県観光連盟
佐賀県教育委員会
佐賀県

【基本構想策定時の県準備委員会構成団体（順不同）】

＊基本構想作成に当たっては、次の委員会において原案を作成いただきました。

### 平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
### 基本構想作成委員会委員

| | 氏　名 | 団体・所属　（50音順・敬称略） |
|---|---|---|
| 委員長 | 坂元　康成 | 佐賀大学文化教育学部教授 |
| 副委員長 | 川島　宏一 | 筑波大学システム情報系教授 |
| 委　員 | 愛野　時興 | 祐徳自動車（株）代表取締役<br>（公財）佐賀県体育協会副会長 |
| | 有森　裕子 | （株）RIGHTS. 取締役<br>スペシャルオリンピックス日本理事長 |
| | 伊藤　数子 | NPO法人STAND代表理事<br>東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問 |
| | 井上　英明 | （株）パーク・コーポレーション代表取締役<br>（株）アスロニア取締役 |
| | 倉成　英俊 | （株）電通総研 creative project director |
| | 佐藤 和歌子 | NPO法人森林をつくろう理事長 |
| | 副島　正純 | （一社）ウィルチェアアスリートクラブ ソシオSOEJIMA<br>東京マラソン車いすレースディレクター |
| | 為末　大 | （一社）アスリートソサエティ代表理事 |
| | 牟田 雄一郎 | DJ、MC、ナレーター（YUYA） |
| | 森田　久代 | 佐賀県教育委員会委員 |
| | 山本　浩 | 法政大学スポーツ健康学部教授 |

お問合せ先
平成35年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会
佐賀県準備委員会（事務局）佐賀県スポーツ課内
● 住所／佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
● TEL／0952-25-7322
● FAX／0952-25-7375
● E-mail／sports@pref.saga.lg.jp

（注）事務局は、基本構想策定時（平成27年10月15日）。